

令和6年度ポートセールス事業報告

1 普及事業

(1) セミナーの開催

①伏木富山港現地視察会 (参加：152名)

- ・実施時期：令和6年8月8日(木)
- ・実施場所：伏木富山港、第一イン新湊
- ・実施内容：基調講演、伏木富山港の紹介、伏木富山港の港湾施設の視察を実施し、本港の利用促進を図った。

(講演)

「伏木富山港の活用について」

YKK株式会社 調達・ロジスティクス室長 青木 孝之 氏

「CK LINE 紹介」

シーケー・マリタイム株式会社 (CK LINE 株式会社日本代理店)

業務部 運航チーム 次長 本吉 健太郎 氏

②伏木富山港利用促進セミナー (参加：210名)

- ・実施時期：令和6年11月14日(木)
- ・実施場所：マイナビ PLACE 歌舞伎座タワー 23階
- ・実施内容：県内に事業所を有する企業や県内企業と取引のある商社、船会社等を対象にセミナーを開催し、本港をPRした。

(講演)

「伏木富山港の活用について」

YKK株式会社 調達・ロジスティクス室

ロジスティクスグループ長 小椎尾 正 氏

「OOCLの国際フィーダーサービスと伏木富山港」

オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド

日本支社 北米・中南米・アフリカトレード

統括部長 石川 敬之 氏

「世界の貿易と国際物流をめぐる現状」

独立行政法人日本貿易振興機構

調査部 国際経済課 課長代理 田中 麻理 氏

(2) 展示会への出展

①第5回 関西物流展 KANSAI LOGIX2024への出展

- ・実施時期：令和6年4月10日（水）～12日（金）
- ・実施場所：インテックス大阪
- ・実施内容：ブースでのPRを実施

②国際物流総合展 2024 第16回 Logis-Tech Tokyoへの出展

- ・実施時期：令和6年9月10日（火）～13日（金）
- ・実施場所：東京ビッグサイト（東京国際展示場）
- ・実施内容：ブースでのPR、伏木富山港のプレゼンテーションを実施

(3) 荷主企業等の訪問 (R6: 61社訪問 (県内29社、県外32社))

- ・県内外の荷主企業を訪問し、インセンティブ制度やトライアル輸送実験補助金のPR等を通じ、本港の利用拡大を働きかけるとともに、各企業の国際物流の現状やニーズを把握した。また、県によるインセンティブ制度について、企業訪問を通じて伏木富山港の積極的な利用を働きかけた。

(4) その他各種事業

海外からバイヤーを招へいして行われた商談会に参加し、伏木富山港のPRを通じて利用促進を図った。

(5) 海外ポートセールス訪問団

①派遣期間 令和7年1月14日（火）～18日（土）〔4泊5日〕

②訪問先 韓国（ソウル）・中国（上海）

③参加者 団員：10名

構成：伏木海陸運送（株）、日本通運（株）北陸東支店、富山港湾運送（株）、

（独）日本貿易振興機構富山貿易情報センター、県（立地通商課、港湾課）

④活動の結果（概要）

○伏木富山港に定期コンテナ航路を有する船会社7社、NAMSUNG（南星海運）株式会社、PANCON（汎洲海運）株式会社、CK LINE（天敬海運）株式会社、KMTC（高麗海運）株式会社、SINOKOR（長錦商船）株式会社、HEUNG-A LINE（興亞LINE）、神原汽船（中国）船務有限公司（神原汽船株式会社現地法人）を訪問し、伏木富山港のコンテナ取扱量の現状や今後の見通しなどを説明するとともに、航路の維持・拡充や安定就航を呼びかけた。

各船社からは、昨今のコンテナ貨物の取扱状況、航路の維持・拡充を含めた今後の事業展開について説明を受けるとともに、日本の物流業界の現状や伏木富山港の国際フィーダーの就航状況についての質問があり、現状を説明し、意見交換を行った。

また、メガキャリアである HMM（エイチエムエム）を訪問し、コンテナ取扱数の現状や今後の事業展開について説明を受けるとともに、伏木富山港について意見交換を行った。

○上海市近郊に進出している富山県ゆかりの荷主企業を訪問し、事業内容や輸出入貨物の現状、今後の見込みについて説明を受けるとともに、伏木富山港の利用について意見交換を行った。

○1月16日（木）には、本訪問団に併せて、富山県にゆかりのある中国進出企業、物流業者等を対象に「伏木富山港セミナーin上海」を開催。伏木富山港の利便性やインセンティブ制度をPRした。（参加者：35名）

（講演）

「上海立山の概要と、伏木富山港の利用状況について」

上海立山商業設備有限公司

董事長・総經理 堀 淳志 氏

「神原汽船のサービスについて」

神原汽船株式会社阪神事務所

営業 中村 太輔 氏

2 啓発事業

- (1) PRリーフレットの作成（3,000部）
- (2) 伏木富山港PRノベルティの作成・配布
- (3) ホームページ更新（随時）

3 県委託事業

令和6年度において、ロシア・ウクライナ情勢にかかり、ロシア経済・物流が混乱する中、県からの委託事業として、日露間の物流に強いアドバイザーを活用し、ロシア情勢が改善された後に直ちにSLB活用に繋げられるように、ロシア経済・物流情勢や日露間の物流環境等について情報収集を行った。